

報 告 書

開催日時	平成29年1月18日(水) 19時00分～20時30分		
自治協議会名	府中地区住民自治協議会	開催場所	府中地区市民センター
出席議員	百上 真奈、生中正嗣、前田 孝也、福田 香織		
	司会者	記録者	報告者
	生中正嗣	前田 孝也	百上 真奈
参加人数	36名		

【主な意見・提言、対応等】

- 1 現庁舎地の利活用について
 - ・南庁舎は有名な建築家が設計したと聞いているが議会は壊す方向で考えている。古き良き建築物をなぜ議会は壊そうとしているのか。 → 価値観の違いもあり相容れない状況である。
 - ・建築費用等で市の負担を増やさないでほしい。
 - ・南庁舎を解体するのにいくらかかるのか。 → 議会は1.78億円を見込んでいる。
 - ・南庁舎は早く解体すべきである。合併特例債が使えるようにすべきだが、間に合うのか。
 - ・議会にも調査費用を与えて行政と両方で議論しないといつまでも平行線のままではないか。
 - ・住民投票をしてはどうか。また、50%以上での成立・開票の要件は設定すべきでない。
→ 一般質問において市長は住民投票を拒否した。
- 2 合併特例債の今日までの使用状況と残高、今後の活用について
 - ・残高説明を受けて資料を読んでも一般市民では理解できない。もう少し市民にも理解できるように資料を整理してわかりやすく説明してほしい。
 - ・行政の見積もりが甘い。一人ひとりが責任を持って仕事をすべきだ。
- 3 小学校区再編計画に基づく進捗状況と今後の計画について
 - ・以前に教育委員会から「小学校が16から8」「中学校が8から4」という計画で説明を受けていたが、現状はどうなっているのか。
 - ・市長の交代で計画を全て変更するのはよくない。子どもたちにとっての計画を考えるべきだ。
 - ・将来、再度計画を立てなければならないような無駄や二重投資はよくない。
- 4 ハイトピア伊賀駅前広場の活用状況について
 - ・有効利用されているのか。
 - ・駅前の賑わいはコンパクトシティにして総合的に計画を立てるべきだ。また、若者たちが伊賀に住みやすいように柔軟に計画を立案すべきだ。
- 5 北伊勢上野信用金庫跡地の整備状況について
 - ・もっと有効に公用地を活用して欲しい。
→ 平成29年6月頃に県道が拡幅予定で、活用方法を地元自治協と協議している。
- 6 議会と市長との今後の関係について
 - ・庁舎や病院問題等いろいろな議案について市長と議会は対立しているが、もっと仲良く協議して市民のためになるように市政の運営をしてほしい。
- 7 行政視察の成果について
 - ・視察についての実態がわかりにくい。公金を使用しているにもかかわらず目的と成果が一般市民目線から理解しにくい。
→ 議会だよりやケーブルテレビでの報告、決算から予算の連動に向けた提言を行ったり、議員全員協議会で会派ごとに視察内容について報告を行っている。
 - ・過去の新聞報道で、行政視察において議員が飲酒のうえ喧嘩をしたとあったが、今後はこのようなトラブルを起こさないでほしい。また、議会でこの件について議論はしたのか。
→ 今後はこのようなトラブルを起こさないのが当然であると全議員が痛感している。
- 8 その他
 - ・議会報告会の資料をもっと見やすくしてほしい。
 - ・三重大学などと連携し、地方創生について学生と議会の接点をつくれば、人材育成にもなるのではいか。
 - ・議会だよりに掲載の一般質問が割愛されているので、全部掲載できるよう予算を増額して紙面を充実させてほしい。

伊賀市議会議長 様

平成29年2月7日

議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成28年度議会報告会2班

班長 百上 真奈